

中国留学体験レポート

国際文化学科

21017126 横澤咲季

私は2018年8月27日から2019年1月7日の約4か月間、中国留学へ参加しました。ここではその約4か月間の生活について記していこうと思います。

私は初め、留学に対して期待がある一方、不安な気持ちもありました。はじめての海外での生活、さらに中国語の能力もままならない状態だったため、実際に中国に到着した際、これからの生活がどうなるのだろうと不安になっていました。もちろん新しい環境での生活や人との出会いに期待があったのも事実でした。しかしそんな期待を上回るほど不安が大きくなったことがありました。それは授業が始まったばかりの頃です。授業はもちろん中国語を学びに来ている留学生と受けていましたが、周りの外国人留学生の中国語のレベルが、明らかに自分よりも高いのを感じて、初めのころはそのレベルの差に焦りを感じていました。けれどその環境こそ私の中国語の能力を向上させるのにとってもよかったと後々感じました。そのころは、授業から帰ったら、その日の復習、そして次の予習を寝る前までやって、自分でやることはすべてやろうと決めていました。そうして徐々に授業にも慣れ、自分の中で余裕が出てくるようになった時はうれしかったです。

また、留学中とてもよかったことは、クラスメートの外国人留学生との交流です。先にも述べたように、クラスメートのみんなは中国語の能力が高く、授業にも積極的に中国語を使って参加していました。そんな中、私がわからないところがあるとすぐ教えてくれたり、休み時間中には積極的に話しかけてくれたりして、本当に優しくて面白い子たちばかりでした。私が特に仲良くなった子たちは韓国人のみんなで、長期休みには遊園地に行ったり、お互い、自国のごはん屋さん連れて行ったり、中国語を教えあうだけでなく、日本語や韓国語を教えあったりと、楽しい思い出をたくさん作ることができました。正直、私が当初期待していた以上の新しい出会いができて、本当に留学に行けてよかったと思うことの一つになりました。

そして、もう一つこの留学で感謝していることが、一緒に留学に行ったメンバーの存在です。初めは慣れない生活に正直落ち込んだり、ネガティブな感情になったりすることがあったのですが、そんなときにいつもそばで励ましてくれたり、気持ちを明るくしてくれた友達に本当に感謝しています。この留学が楽しい思い出ばかりなのは、一緒にご飯を食べたり、勉強したり、遊びに行ったりといったことを沢山できたからだと思います。その中で、中国料理を食べたり、世界遺産などを訪れたりして、自然と中国文化に触れることもできました。このように様々な経験を共にできたことをうれしく思うし、お互いの存在がどれだけ大きかったか、改めて感じることもできました。

この留学を機に出会った方々や吸収してきたこと、そして中国語を無駄にしないよう、こ

れからも生活していきたいです。また、今回の留学で仲良くなった海外の友達に会いに行きたいと考えています。今回の留学に関係してくださったすべての方に感謝しています。本当に楽しい留学になりました。